

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

地域住民代表アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～8月15日

対象者：地域住民代表者54名

回答数：47名（回答率：約87%）

注)「2 トренд調査結果」における回答理由・自由回答等は、原則として原文のまま掲載しています。

## 目次

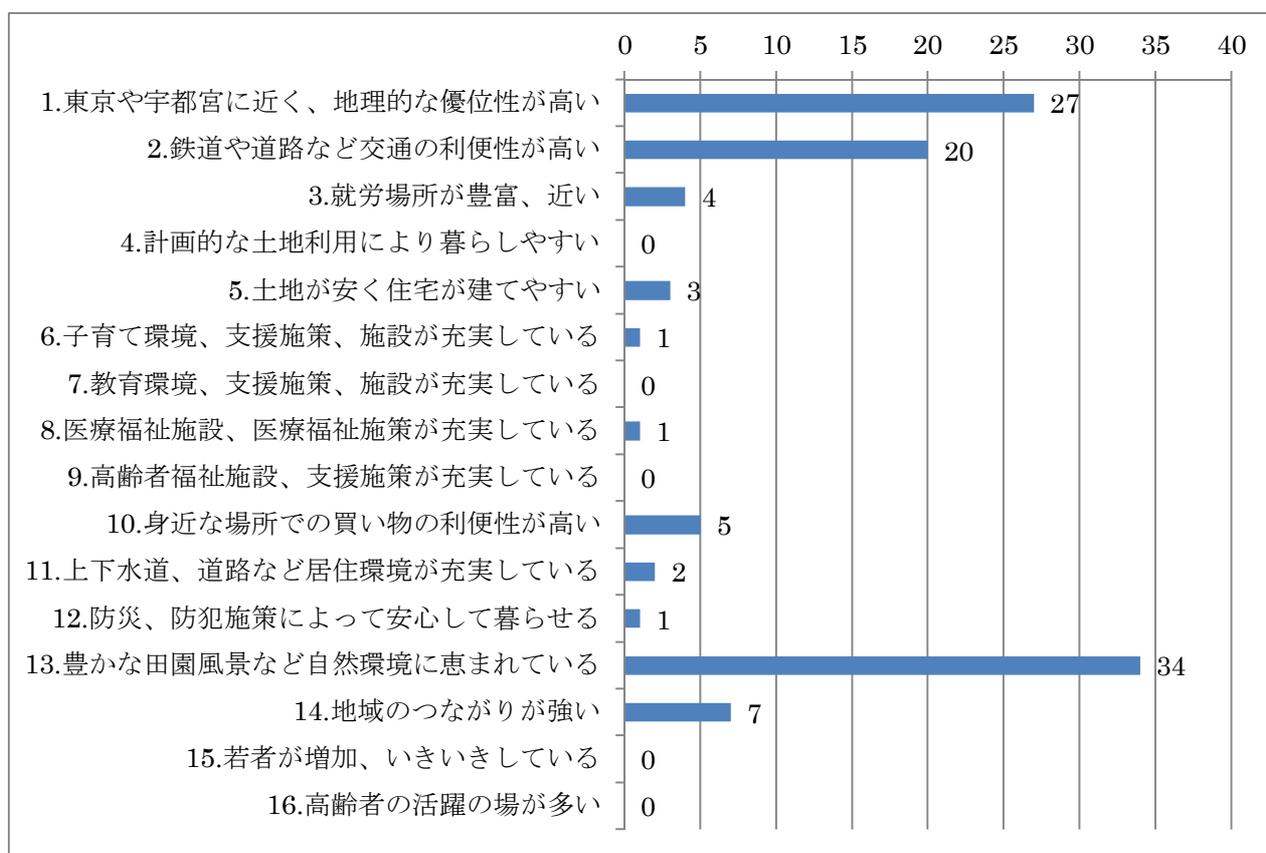
1.町の強み（他市町と比較して優れている点）・・・・・・・・・・	2
2.町の弱み（他市町と比較して劣っている点）・・・・・・・・・・	6
3.定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え・・	11
4.町の土地利用に対するあなたの考え・・・・・・・・・・	17
5-1.新たな自治の仕組みについて・・・・・・・・・・	21
5-2 地域コミュニティ（行政区）を維持・発展させる 取組みについて・・・・・・・・・・	22
6.小学校区別クロス集計・・・・・・・・・・	23
アンケート調査票・・・・・・・・・・	26

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

町の強みとして、回答者が最も多くあげたのが、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている(34)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い(27)」「2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い(20)」で、自然、立地条件、及び交通利便性に関する評価が高い。

選択肢13の選択理由としては、田園風景の美しさに加え、地元の安全でおいしい農産物が豊富であること、住環境として魅力的であること、選択肢1、選択肢2の選択理由としては、東京や宇都宮までの交通アクセスの良さがあげられた。

(単位：人 以下同様)



○その理由 [問 1.自由回答]

No	選択肢 1 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高いを選んだ理由
1	デマンド交通便数を増加すればなおさら良い。
2	自動車でも宇都宮市内に便利。
3	東京や宇都宮には近くて住むには良い距離と思うが。
4	地理的には優位であるがそれを生かしているか。
5	県道が整備されており、JR 駅、IC にアクセスが良い (10~30 分)。
6	首都圏への通勤が可能である。
7	都市への進出が比較的楽である。
8	当町の立地的な強みは鉄道、道路網の充実であり、これは絶対的メリットである。まずは、この利便性を大いに PR すべきであると思います。
9	本町は鉄道、国道等の道路交通網が恵まれている。
10	新幹線を利用すれば都内への通勤も可能。
11	宇都宮市は県都であり商工業の中心であるため、就労機会がある。
12	鉄道や道路を利用した場合、首都圏おおむね 100 キロ以内に入っていて、通勤の面では可能であり、物流の面では有利であるとともに経済的である。
13	周りが田や畑、裏山にかこまれ、自然に暮らすことが出来、空気がきれいで住みやすいと思います。

No	選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由
1	全くその通りで鉄道、道路の交通事情は良いのだが。
2	鉄道、駅はあるがそれを有効に使っていない。
3	町には東北線が走り、宝積寺駅利用で気軽に東京にも行ける。また、国道 4 号線も近くを走り、環境的にも良いと思います。
4	電車利用しやすい。車でも国道 4 号線が通っているので便利。
5	電車を利用すれば宇都宮まで 10 分程度で行くことができる。ただし、駅より離れた地区は駅周辺に駐車場がないので車を利用している。
6	電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで 10 分程度で行くことができ、東京都内への新幹線通勤が可能である。
7	宇都宮へ通勤しても約 30 分から 40 分程度で行ける

No	選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由（前頁続き）
8	国道 4 号線や宇都宮線が通行していて利便性が高い
9	電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで 10 分程度で行くことができ、東京都内への新幹線通勤が可能である。南は宇都宮駅まで 10 分。北方向面で矢板駅までは約 20 分で行くことができ、通う場合や就職面や買い物や通学などの面で有利であるし、利便性が高い。
10	電車に加え清原工業団地、芳賀工業団地、本田技術研究所へ鬼怒川を渡らずに通勤できる

No	選択肢 3 就労場所が豊富、近いを選んだ理由
1	隣接地に工業団地があり働く企業がある
2	近くに清原工業団地、平出工業団地、芳賀工業団地がある
3	工業団地が近い

No	選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由
1	各小学校に付属している施設が良い（例：きのこのもりなど）。
2	騒音や近隣とのトラブルが少ない。
3	自然が魅力。
4	自然が豊かで田園風景など環境は良いのだが。
5	東西丘の牧場などや北南に長い田園など自然に恵まれた環境にある。
6	豊かな田園風景など。
7	地域を生かした農産物（加工品含）オリジナル特産物の販路の探究と拡大
8	自給自足に最適の条件が揃っている。
9	様々な意見はたくさんあると思うが、当町の都市計画や農振計画による線引きは秩序ある土地利用計画であると私は考えます。人口を増やすためだけの諸施策の乱用は生活インフラ負担など、将来の財政基盤に大きなダメージを与えるものと思います。
10	国庫補助事業で水田の区画整理が完成して約 30 年、町の約 6 割が農地で比較的平坦で特に稲作の環境が素晴らしい。
11	御料牧場など自然環境に恵まれているので住みやすい。
12	田園風景の中を散策し、深呼吸すると、都会勤務のストレスが解消される。
13	生活するにあたり緑が多くみられ安らぐしまた近くに鬼怒川もあり自然環境が良い。

No	選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由（前頁続き）
14	農業関係者は作業（生産）しやすい。
15	高根沢は歌にもあるようにたんたん田んぼの高根沢、県内でも有数の米どころでもあることは県内でも知られているところである。その知名度を利用してコメのブランド米をつくり、県内はもとより、日本、世界にアピールする。ただし、おいしいコメでなければ駄目である。
16	自然環境に恵まれ、町も農業振興に力を入れている。しかしもっと高根沢ならではの特産物を作り上げることが必要ではと思う。合わせて、加工、販売するような6次産業の工夫があれば。
17	自然豊かで子供たちがのびのびと自然に接しながら生活できる。

No	選択肢 14 地域のつながりが強いを選んだ理由
1	集落の行事への参加率が高い。
2	住んでいる地域が農村集落のためか、一つにまとまっていると思いますが、若手層が都市に流失して仲間が少なくなっているのが気になります。
3	特に行政区内のつながりが良い。

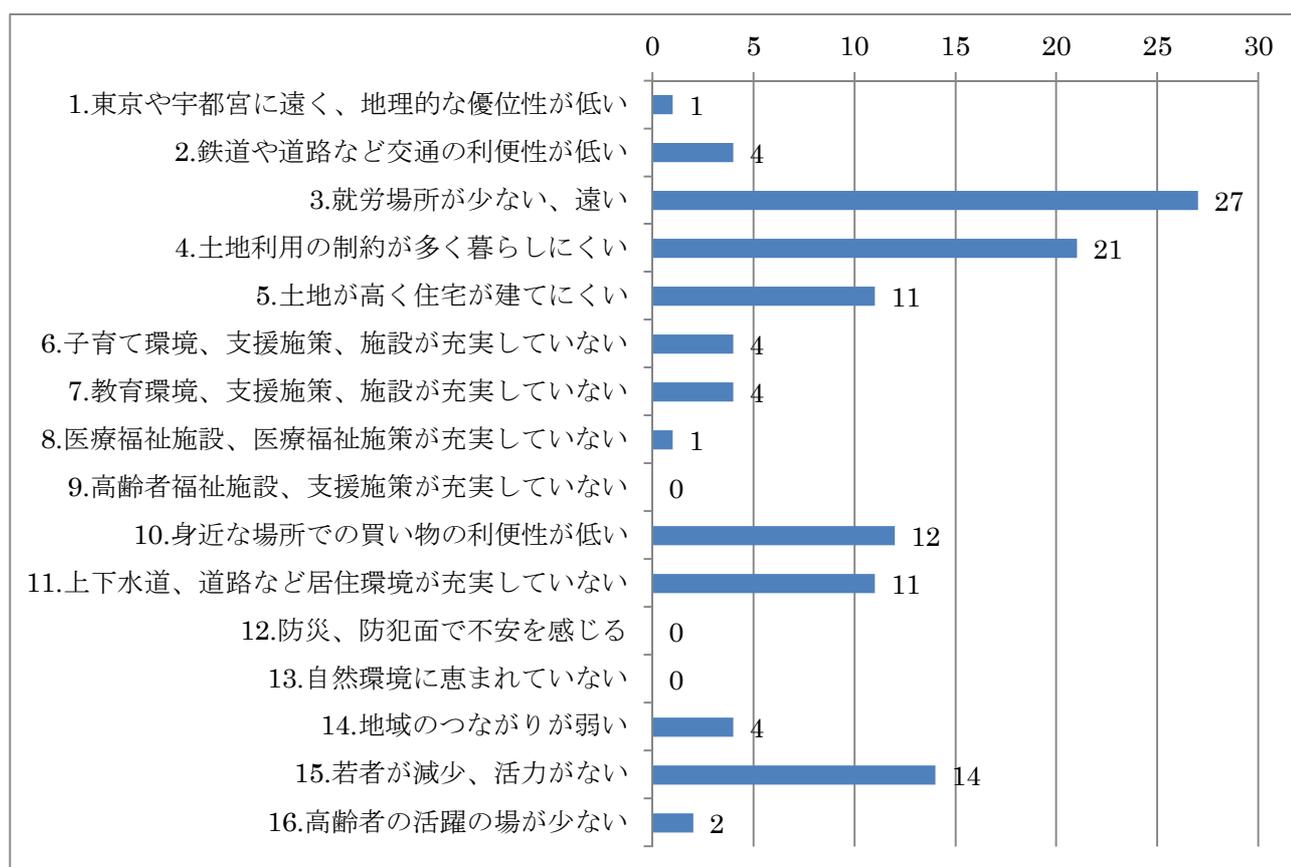
○お気づきの点

1	元気あっぴむら温泉の知名度をさらにあげるため体力づくり大会の実施、例えば、マラソン大会、自転車競技、森林浴等他市町村及び全国的にPRする。
2	私は県外の友達に自己紹介するときは必ず宮内庁御料牧場のあるまち・高根沢と切り出します。住環境に恵まれ、緑豊かな町が大好きです。
3	高根沢ブランド米をアピールすべき。
4	高根沢町はこれが素晴らしいと言える（町外に対し）ものがない。町が綺麗だよとか教育費が無料だよとか、医療費が安い（無料）。若者からの意見を聞くことも大事だと思います。

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

町の弱みとして、回答者が最も多くあげたのが、「3. 就労場所が少ない、遠い (27)」「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい (21)」「15. 若者が減少、活力がない (14)」で、労働環境、住宅環境、などに関する評価が低い。

選択肢3の選択理由としては、町内の雇用環境が整っていないこと、選択肢4の選択理由としては、土地利用の制限や近隣市町と比べて土地代が高いこと、選択肢15の選択理由としても、選択肢4と同様に、雇用の場が少ないことなどの意見があげられた。



○その理由 [問 2.自由回答]

No	選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が低いを選んだ理由
1	地理的に鬼怒川を渡るための橋の制約があり、利便性に欠ける。国道 4 号線に抜けるのに宝積寺北側の幹線道がない。
2	宝積寺駅など利用する場合、駐車場が少ない。
3	交通の便が悪く、車がないと全く生活できない。仕事、買い物、医療などすべての生活において。

No	選択肢 3 就労場所が少ない、遠いを選んだ理由
1	多数を雇用する可能性が高い事業所（工場等）が少ない。
2	他市町への就労が多く通勤時間などが負荷を感じる。
3	町内の実家に住みたくても仕事がない（生活していけない）。
4	高根沢町内及び近くの市、町に住民が働く会社が少ない。
5	企業の誘致、雇用の充実を図る。
6	過ぎ去りし件を持ち出しても仕方ありませんが、かつて我が町で生産工場があった。「長府製作所」「松谷製作所」等、なぜ町へとどまってもらおう努力をしなかったのか。
7	町内での就労者が少ない（職場としては宇都宮市、または東京周辺となる。会社の規模にもよるが町内から通勤できない人もいる。（寮、社宅利用者）
8	就労場所（工場など）があれば就労者も人口も増加し、町が活気づきます。
9	地元で働ける場所があれば人も集まり経済効果も上がると思う。
10	町内では大きな企業だったキリンビール工場が撤退して大きな会社が少ない（私もキリンビールの関連会社にいて退社 59 歳にて）。
11	中小企業、零細企業はたくさんあるがやはり大企業、大手が来ることがあればよいのでは。
12	就労場所が少ないので人口が減少傾向にある。企業誘致のため造成をして企業が進出しやすい環境づくり。
13	就労場所が宇都宮に集中。宇都宮のベッドタウン化傾向。就労場所の確保が必要。

NO	選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由
1	住宅だけでも建てるには大変なのに土地が高ければだれでも敬遠する。
2	空き家の活用が必要。
3	土地の転用が難しい。⇒土地の利用価値を高める。
4	市街化調整区域の規制を緩めないとますます若者が定着しない。
5	宝積寺、仁井田地区の市街化区域のみで、他に住宅を建てる土地がない。
6	計画的な土地利用は基本ではありますが、農商工のバランスのとれたまちづくりは最も重要な基本です。そのため地域特別区を設けて開発すべきです。

NO	選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由
7	さくら市に比べて、住宅の建設に関して審査が厳しいので、近隣地への人口移動がある。
8	土地利用などに制約、価格が高い理由で就学時に他市へ転居する方が多いと思う。
9	土地利用の制約が多く暮らしにくい。
10	町東部地区の開発がおくれている。

NO	選択肢 5 土地が高く住宅が建てにくいを選んだ理由
1	住宅の建設費、リフォーム代金の助成など。
2	宝積寺市街地の整備は立ち遅れているように感じますが、個々の事業費投入は必要であります。しかし、農村部の整備振興策は遅れがあるものと私は感じます。私は農村部に住んでいるので、そう感じるのかもしれませんが、バランスのある予算執行、これも忘れてはならないと思います。
3	他市町に比べ土地の値段が高いので家が建てにくい。
4	都市計画法の指定により、一部の地域の市街化区域の土地が高くなり、指定のないさくら市で住宅地を購入する傾向にある。
5	農地の宅地化を進め、安い土地の供給をする。

NO	選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実していないを選んだ理由
1	環境、支援施策、施設充実していると思うが、特別イメージとして弱い。子育て、教育は住むのに判断材料のひとつ。
2	他市町より子育てしやすい環境（経済的な面も含め、補助金なども含め）であれば町内に20～39歳の若い子育て世代が増加します。
3	子育て環境の整備が不十分であるため、少子化傾向にあり、人口減少となる。働いている時間における子供の支援、税金面での優遇措置など。
4	子どもたちが喜んで遊ぶことができる多目的施設がない。
5	子育てに対する支援（補助金）施設が不足していると。

NO	選択肢 10 身近な場所での買い物の利便性が低いを選んだ理由
1	商業施設、サービス業施設若い人にとっては同じ住むなら利便性の高いところ、買い物サービスが受けられる所の近くが良いのでは。
2	大型店がない。
3	町内には大型店舗がなく、特に若者は買い物は他市町へ流れる。

NO	選択肢 10 身近な場所での買い物の利便性が低いを選んだ理由
4	宇都宮市、さくら市に流れているのが現実。若者や親子が楽しんで買い物できる商業施設がほしい。
5	食料品店（スーパー）はあるものの、医療、家電、家具、医療などの買い物は宇都宮市やさくら市の大型店に行っている状況である。
6	大型商業施設が町にできない。宇都宮、さくら市に集中している。

NO	選択肢 11 上下水道、道路など居住環境が充実していないを選んだ理由
1	上下水道の整備が遅れている。一部の地域のみ整備済。
2	特に下水道のインフラ整備が進んでいない。
3	都市計画などの遅れで下水道整備が遅れているので住みにくい。
4	町中心部から清原、芳賀工業団地へ続く道路の強化・整備を行い、これら工業団地へ勤務する人たちのベッドタウンとして魅力を図る。

NO	選択肢 14 地域のつながりが弱いを選んだ理由
1	これからは行政のみならず、その行政補完として、自治会活動をさらに充実、発展させていく必要があるのではないのでしょうか。今当町はその考え方で真剣に自治会活動を援助、育成する気になっているのでしょうか。ここは再度考え直してみしてほしいと思っています。

NO	選択肢 15 若者が減少、活力がないを選んだ理由
1	少子化若者人口はどこでも同じだがUターン、Uターン2世、3世が少ない。IUターン、2世、3世が住むような施策。
2	町内での働き場所がなく、若い人間が定住しにくい。
3	高齢化、若者の流失で限界集落の現実が進んでいる。
4	就労場所が少なければ、若者は生きていくためには町外へでざるをえません。とにかく若者の働ける場所をお願いします。
5	県外に出て行っている。同居が少なくなっている。
6	町内の職場が少ないので首都圏周辺で働く人が多く、残るのは高齢者のみの家庭が多くなっている。
8	少子高齢化と他県（他の町など）での生活の若者が目立つ。農家では長男が同居しているのが少ない。

NO	選択肢 16 高齢者の活躍の場が少ないを選んだ理由
1	60歳前後で退職してしまうと特別な資格、手に職を持っていなければ就労するところがなく生活が苦しい。
2	今後数年もしくは十数年のうちに、高齢化社会になることは間違いないので、少子化対策もさることながら、高齢者の活躍できる場など、高齢者対策も考える時期に来ている。

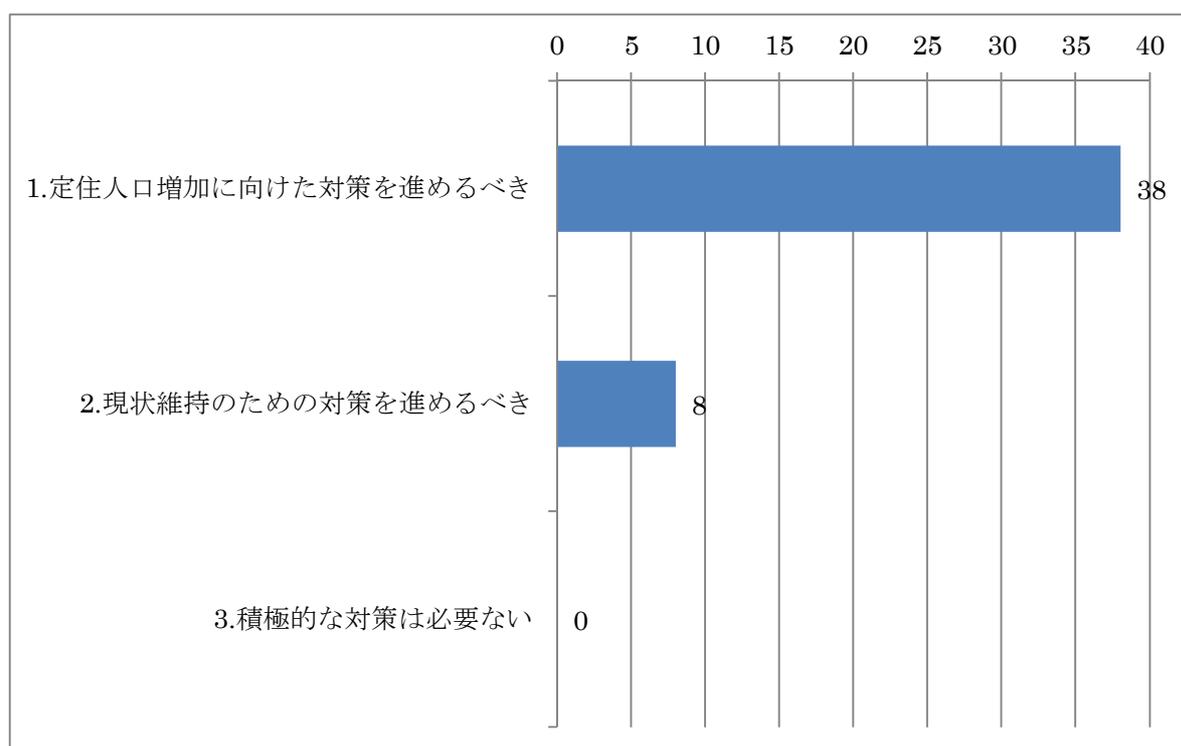
○お気づきの点

1	住んで良かった住みやすい住み心地が良いという言葉、口コミなどでないと増えない。イメージをよくする。ある程度の話題性、話題作りは必要。町のイメージが大事「魅力」。
2	例を見て分かるように、答えが出ているのではないので今後一つずつ解決していくよう、町の制約の見直しをする。
3	強みを活かすは賛成ですが弱みを克服こちらのほうが先決かと思います。
4	市街化調整区域の撤廃。
5	町の一般会計財政の税収の確保は個人の税だけでは十分とは言えません。法人町民税がいかに大きいかが、キリンビール工場撤退により誰もわかりやすいと思います。このことを検証してより良い街づくりをお願いします。
6	知名度が低い。高根沢といえは？
7	栃木県内 25 市町村あるわけですが、高根沢の売りは何かといった場合、インパクトが少し弱い感じがします。その売りを高根沢住民が見つけ出すとともに、共有するとともに一丸となってPRをして より良いイメージをつくり、定住人口増につなげる。
8	郷愁や望郷の念を抱かせる教育の面についても考える必要があるのでは。
9	駅が立派であるのに対し、周辺に商店、飲食店が少なく活気がない。

### 3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

定住人口増加対策における町の方針に対する考えとしては、「定住人口増加に向けた対策を進めるべき（38）」が大半を占めた。

ご意見・ご提言としては、魅力ある住環境としてのイメージUP、また結婚や子育て支援などの若者の生活支援の充実などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

1	市街化調整区域の規制緩和政策が重要では。
2	1.結婚相談員の復活(一番の近道)①若者に出会いの場所が少ない(ボランティア精神)。 ②おせっかいおばさん、おじさんがまだいる。③豊かな田園風景などの自然環境が魅力。 ④町のPR推進に貢献できる。 2.加藤公博町長自らがトップセールスにあたる①町の立地条件、交通事情、自然環境等安全安心な快適な町のPRが必要。
3	1.町のイメージを作るべき。住んでみようか、よさそうだなとか話題になるもの。住むのに子供のことが気なるなら、環境づくり。子供の教育、施設、支援を充実させ、例えば教育の町高根沢といわれるようイメージを作る(子供を取り込む)。 2.住宅地、団地が整備され、県営、町営住宅など補助、支援体制ができています。住む環境ができています。整理されている(都市計画)。 3.高根沢町のシンボルとなる核となる建物庁舎がしっかり存在していること。行政、役所がしっかりしているな。しっかり対応されているなのイメージがわからない。課がバラバラな所在にあり、行政対応がしっかりした町と思われたいといけない。
4	結婚適齢期を過ぎても結婚しない未婚の男女が多いように感じる。今からでもやれる範囲での集団見合い等結婚に通じる道しるべを町をあげてやってほしい。子育て環境、支援対策にしてもここで育てたいと思うような成功した他県もあると聞いているので、積極的にそういうところの視察なども取り入れてみてはどうか。ここで住み育てたいという町にしなければならないためにも必要と考えるが。
5	かつての高根沢町の人口増加の要因は光陽台、宝石台の開発がすべてであったのではなかろうか。したがって今これに匹敵する開発が可能であろうか。4万人構想などと風呂敷を広げても、何もなしでは、絵に描いた餅と思える。市街地の未利用地の活用できるレベルではないだろう。そこでキンピール工場跡地の開発が思い浮かぶ。宇都宮のベルモールを想像してみよう。大型ショッピングモールが出来上がっている。いろんな施設があり多くの若者が集まってくる。多くのお金が落ちる。この地に第二のベルモールはできないものか。JR烏山線があり、利便性も規模もベルモールより条件が良い。可能であれば何より1万人の若者に受け入れられるだろう。もっとも大切なことは高根沢町をどうアピールするかであろう。それには恰好のものではなかろうか。
6	人口増加は交通利便性。駅、国道4号線を活用。 住みやすい街にする。市街化調整区域などの規制、農地転用などの規制。
7	市街化調整区域の問題。 キンピール跡地の早期解決⇒「工業用地だから」は問題解決にはならない。商業用地、住宅地に早く転化すべきでは。
8	なぜ人口移動が増加しているか、各年代、各層などから広く意見を聞き、対策を考えるべきと思う。

9	<p>働く場所の提供。 住宅地の整備・提供。 住宅環境の整備（店舗、学校、医療など）。</p>
10	<p>人口増の施策は大切なものと思います。ただ私が心配しているのは単なる人口を増やすため安易なばらまきによる施策では後年度負担が将来に大きな影響が出ることです。当然、町長や職員はそのところを十分理解しているものと思いますが、成果を焦るのではなく、時間をじっくりかけてあわてず、バランスをとって政策を立案してほしいと願っています、今住んでいる住民の満足度を高めるのが最優先であるものとは私は考えます。</p>
11	<p>農振や調整区域を緩和し住宅を建設しやすく就労場所の充実をすれば多少高価な土地でも住宅は建設できるし定住すると思う。 高齢者には多くの恩恵があると思うが幼児や小児の支援が少ないため若い女性が子供を産むための障害になっているのでは。</p>
12	<p>少子高齢化、限界集落という現状と2040年には全国の自治体が50%消滅するという見通しの中で、高根沢町が4万人構想を推進するには厳しい状況であるので現状維持を基本に進める必要がある。</p>
13	<p>高根沢町だけの問題ではありません。広域な地域あるいは県、国全体が取り組んでいただきたいことです。第一に若者を取り巻く生活環境が厳しいということです。正規労働者、非正規労働者のギャップも以前はありましたが正直賃金が安すぎる。昇給を知らない現代の若者であり残業代が出る会社なら多少許せるが、今は無報酬でサービス残業当たり前。これではアフター5を友達と会うとか、夜お酒でもとか、出会いの場もありません。これでは一日一日夜寝に帰るだけの生活。夢もありません。一言、国の政策として「長時間労働を禁止」の法律を作るべきです。</p>
14	<p>やはり就労場所の確保。 子育ての支援、若者向け住宅の補助。 保育所の無料化、子育て家庭への住宅費などの補助支援。</p>
15	<p>まずは現状維持のための対策を立案し、確実に推進すべき。人口減少化の要因は把握しているわけだからその歯止めにかかる。税の軽減化、子育て支援、福祉面の強化など、他の市町村と比較して優位性をアピールできる。町づくりが他市町への流出防止になると思うし、結果として、人口増加につながるかもしれない。そのためには財源が必要ですし、増収対策として町内への企業誘致は喫緊の課題だと思っています。</p>

16	人口を増加させることで、町民が高根沢に住んで良い町だと思うのでしょうか。人口が増えればそれだけインフラの整備、また箱もの施設の建設などが増加し、さらに数十年後には整備した施設などの補修・補強が必要となり、町の運営は大変厳しくなり、町民税を増加せざるを得ない状況になり、経済的にも若者世代を増加させることなどできない状況になります。芳賀町のように町内に工場用地提供による税収入があるが、工場で働く多くの社員は宇都宮市に住んでいることから、インフラなどの整備は宇都宮市で実施されている。町民一人あたりの予算も安定し「町民が住んで良かった」と思えるような施策も実施できます。人口を増加させることだけではなく、町民が日本一高根沢町に住んで良かったと思えるような施策（運営）を望みます。
17	子どもが生まれた場合に1人目、2人目、3人目と段階を付けて町（国からも援助を含め）から助成金を支援して人口が増加するようにしてもらいたい。
18	今すぐ人口増加になることではないが私たちが子供のころは各家庭では3名くらいの出生率が普通であった。現状はむずかしいが出生率2程度になるよう町だけでなく、日本全体の問題として考え、少子化と人口減少に歯止めをかける政策（援助する）を進めてほしい。
19	アパートは多くみられるが家族が増えて、手狭になれば一軒家を考える。そのための土地、費用補助、就学に対しての利点、企業誘致を積極的に行うべきでは。就農したい若者を呼べるような企画、または土地や施設援助をしてみてもは。とにかく長く住んで暮らしたいと思えるものにしてみてはどうですか。
20	定住人口の増加はホンダ技術研究所職員などが独身寮を出て、宅地を購入できるような安価な住宅地を施策として実施すべきである。
21	現在、町に住んでいる3万人のための施策を推進することが必要と思う。現在、居住している人がこの町に住んでいてよかったと感じるような施策を実施することが、ひいては他の町に住んでいる人を呼び込み、人口増につながると思う。そのためには良好な環境づくり（上下水道、道路づくり）子供を産み育てられる、かつ働いていける児童福祉の充実。老人の住みやすい福祉社会の充実など現時点で各市町村の課題となっている施策を地道に推進していくべきと思う（予算の不足の中で優先順位をつけて）。
22	雇用の創出（産業振興）→働く場所がないところには人は集まらない。・Uターン支援策の強化⇒転出者の地元定着化・結婚支援策の充実⇒未婚化や晩婚化・高齢者福祉の充実⇒一人暮らしの高齢者・出生向上に向けた取り組み⇒出逢いの機会づくり支援策、不妊治療費助成、子育て支援、医療給付助成。・転出者の減少に向けた取り組み⇒トップセールスをはじめとした企業誘致や工業、商業、観光などの産業振興を振興する。・交流による定住人口増加のきっかけづくり⇒競技大会など大きなスポーツ大会、音楽、美術、文化などを開催し、交流により、高根沢町をまず肌で感じてもらうきっかけづくり。
23	他自治体と共生していくのか、または競争していくのかによって方策を立案すべきでは。小さな自治体だけの自助努力には限界があるのでは。

24	市街化区域を拡大して、道路の整備もされてできるなら大型ショッピング店もきていただければ定住者になると思います（住宅メーカーによると駅周辺は住むのには人気があるとのことです）
25	若者の雇用拡大が図れる場の確保が一番である。そのためにもキリンビール跡地の再利用を早急に行うべきである。
26	まずは、町の将来像をまず明確化することが必要。それも、将来を見通した具体的な方向性も視野に入れたものでなければならない。たとえば、宇都宮市を中心としてベッドタウンとして整備していくのか、それとも、依然として農業を中心とした町づくりをしていくのかなど、方向性を明確化していくことが必要。あいまいな、あるいはどっちつかずの形では大胆な発想は出てこない。具体的対策としてはハード面、ソフト面両面からのアプローチが必要であろう。たとえば、ハード面で言うなら、住民が土地を求めやすい配慮が必要であり、市街地における空地、空き家対策であったり、市街化調整区域を転換し宅地造成を進めるなどが必要である。また、就労先の確保では、キリンビールのような現在ある優良企業が町から退去しないための道路整備などを含めた対策と誘致が必要であろう。ソフト面で言えば、子育てしやすい環境の整備だけではなく制度面での優遇措置を講じるなど高根沢に住んで良かったと思える制度施策の構築も必要である。
27	宇都宮市のベッドタウンと書かれているが、本当にそうなのか検証してみる必要があるのでは。自分の中では、本田、芳賀、清原に通勤する人が鬼怒川の橋の渋滞を嫌い、川を超えた場所に宅地を求めた結果、人口が増加したとの認識でいます。現在がH19年の板戸大橋（テクノ街道）の完成や宇都宮テクノポリスのゆいの杜分譲により、昔ほどの魅力がなくなったのが人口減少のきっかけとなったのではないのでしょうか。 対策：町外から転入してきた30～40代の人たちの勤務地を調べ、これら地域へのアクセスしやすい道路環境を整備する（ex.電車道拡張）。
28	少子高齢化が進む現状を考えると、若者はなぜ定着しないのか？高齢者の生きがいは？ ①若者に定着してもらうには、1.教育費の無料化 2.子育て支援の更なる充実 3.コミュニティ施設の充実①たとえば、コミュニティ施設に行けば老若男女が和気あいあいと話し合いができる雰囲気や製氷機などが置いてあり、レジャー等にいつでも氷などが使用できるなど備品の充実。②高齢者の生きがいは、1.団塊世代が定年退職者が増えていく中で、個人の特技を活かせる環境（シルバーセンター以外）を作る。例えば、NPOを立ちあげるとか。
29	住みやすくするためには、税金は安く、医療機関がある程度整って、子供に対してできるだけの支援（補助金）を考慮してほしいです。又、親がスムーズに働けるようにそういう施設も十分にあってほしいです。
30	人口増加に向けた対策をとるにはまず、町の財政を確保する必要があると思います。思いきった対策をとるためには金がいる。

31	人口増減を見てみると、平成26年一年間では平田、宝積寺の二地区の増、前年増減でも同地区のみ増と他地区はすべて減少傾向と大変厳しい状況。就労場所の確保、住むところとしての住宅地の開発に見直しが必要。キリンビール跡地の活用もが、他人の土地。キリンビールの意向に制約を受け続けるため、就労場所、宅地確保のためには他の地域の開発が必要。
----	--

●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 地域住民代表者会議開催時における

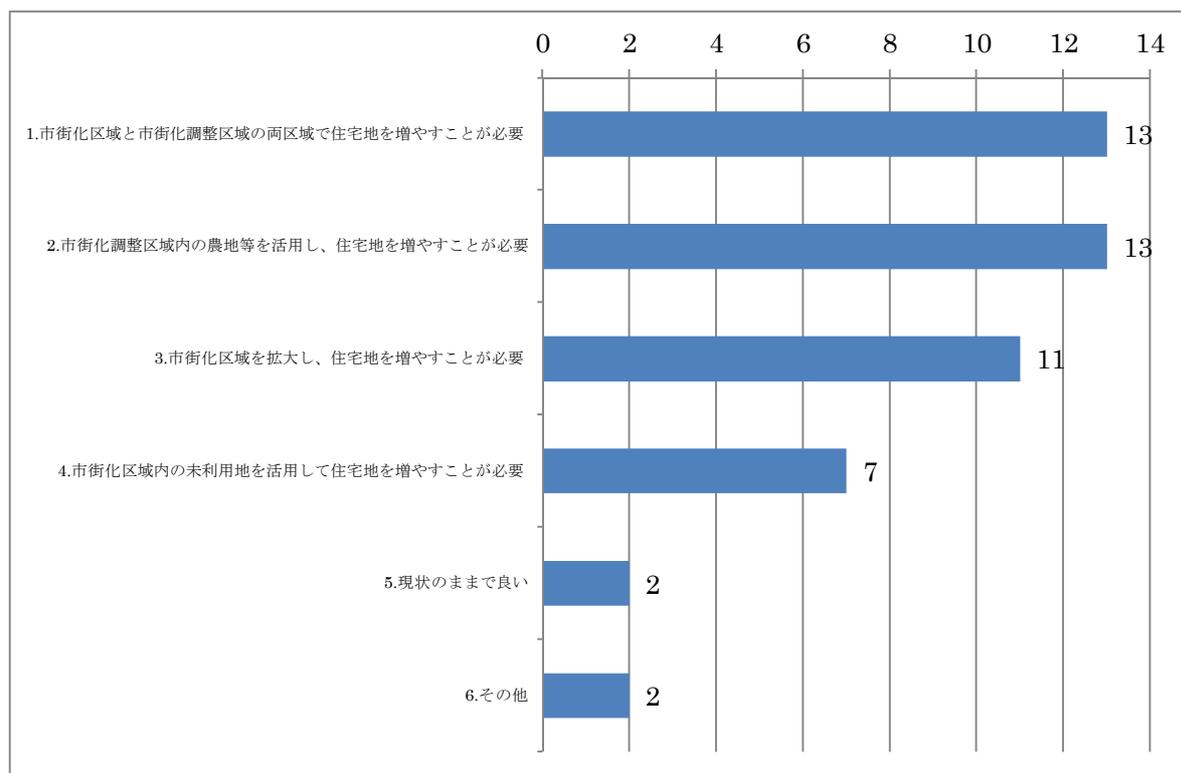
定住対策に関するご意見

- ・20代から30代の若い人を増やすということは、どうしてもインフラの整備が必要。しかしながら、10~20年後には補修が伴う。その予算をどう確保するのか、その予算を医療費無料などに充てたほうが人口増加に貢献するかもしれない。まずは税金を増やすためには町としてはどのように考えているのか。
- ・芳賀町の場合は、この町と違って税金があり、税金の割合に対して人口が少ないので、インフラ整備に要する費用が比較的少なくすむ。旧河内町については、宇都宮のベッドタウンとして非常に多く人が住んでいて学校の整備等で財政的に厳しかったと聞いている。このような町の事例を参考にしていれば。
- ・人口を増やすためには、まず、高根沢の良さを知ってもらうことが必要。もう一つは、農村部にある程度地域を設けて、宅地化するというのも良いことでは。昔は、これをモザイク型にやったから問題があったので、区域を決めてやってはどうか。市街化調整区域では分家住宅以外は建てられないので、これでは、現状維持か減るしかない。医療費の無料化などは、市町村間の競争で収拾がつかなくなるおそれがあるので、御料牧場など町民のアイデンティティを活用・打ち出して人を呼び寄せることから始めたらどうか。
- ・平成18年から人口が減っていると資料に書かれているが、ここに書かれている少子・高齢化などは平成18年に始まったことではないので、他に具体的な要因があるはずなので、そこを分析するべきだと思う。
- ・人口を増やす方法として、空家の活用を進めて欲しい。
- ・少子化問題に関して、町では結婚適齢期にある独身者の把握はしているのか。また、町でやることではないかもしれないが、出会いの場を設けることで、子どもをもつ夫婦をつくるなど、何か町として対策はあるのか。

#### 4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4: 1つ選択]

町の土地利用に対する考えとしては、「1 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 (13)」「2. 市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要 (13)」が同数で最も多かった。

ご意見・ご提言としては、地域住民の意見を取り入れながら、市街化調整区域の規制緩和やその後の開発計画の検討の必要性などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

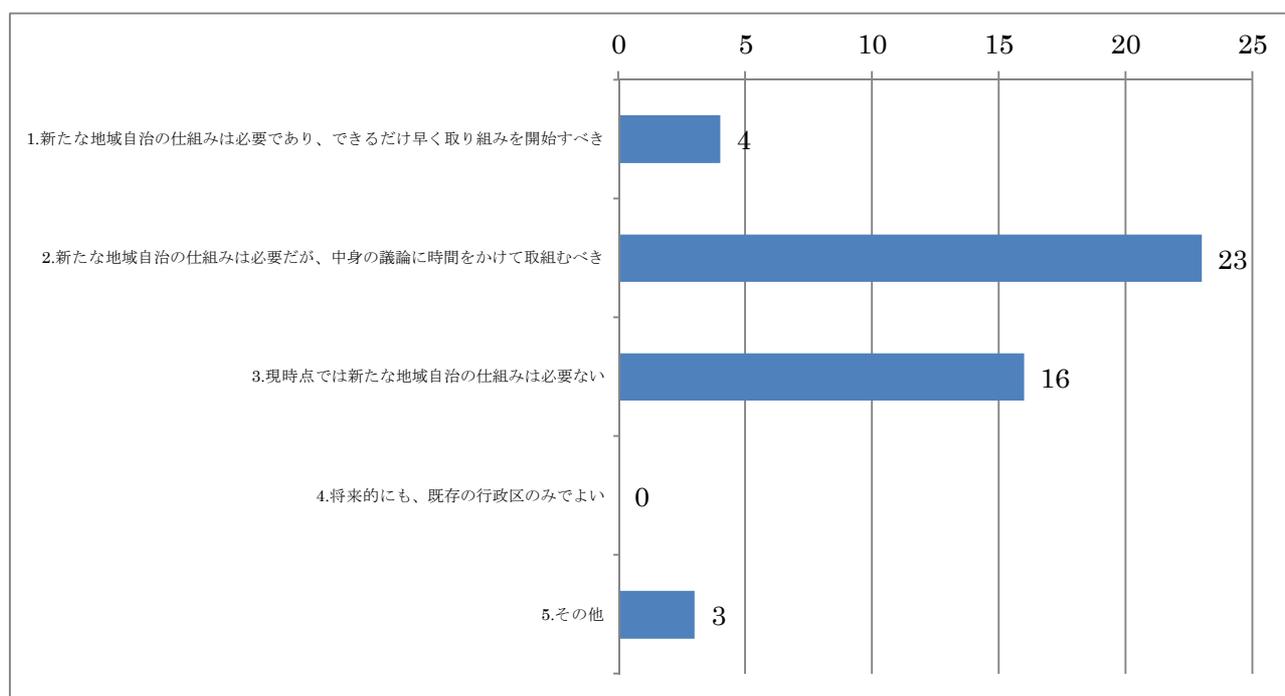
1	地銀と協力し、各種融資などの充実を推進する。
2	1. 将来にむけた都市計画に基づいて市街化区域の設定を 2. Uターン、Iターンの住まい支援・県営、町営住宅、支援体制税助成・市街化調整区域は農地取得の下限面積を下げる（もちろん対策を考えてのこと）。 3. 空き家住宅があるなら対策を。住宅以外の用途、交流施設体験宿泊施設とか農のある暮らしを求める移住者などに話題作りとしっかりした提言をできる行政。
3	優良かつ安価な宅地供給が条件となる。今までのような土地が高く住宅が建てにくくては増加しても意味がないように感じる。
4	市街化調整区域の定義は市街化を抑制すべき区域ではなかろうか。簡単ではなかろう。
5	土地の利用価値を高める。
6	旧家（空き家）の取り壊し費用の援助⇒定住者誘致（これから空き家の増加が予想される）空き家が多いと集落及び、町全体が元気なく、寂れて見え、貧相に感じられる。 まず町内道路をきれいにすること（誰もが認めるきれいさに）次は空地、空き家をなくして活気を与えること。 全町的取り組み。JA、商工業、学校 etc。
7	定住人口増のため、優良な宅地を安価で提供することは一見当たり前のような考え方がありますが、このため調整区域を開発することは本末転倒と私は考えます。私は従来から空き家対策を要望してきていますが、何ら施策には現れておりません。この利活用の考え方をしっかり決め次の施策として市街地の開発促進を講ずることがステップとしては当たり前のことでは無いでしょうか。いずれにせよ、私たちは行政の素人です。行政にかかわれる方々が次々と諸施策を提案、提示していただき、素人の町民を交えた話し合いを充実していくことを最優先していただきたくお願いします。小さいながらも輝くまち 高根沢を共に創っていきたいものです。
8	田園住宅構想ではハードルが高く実現性が難しいので、別な法律で規制を緩めた土地利用を図るべきである。
9	企業の誘致、住宅地の確保、商店などの充実。

10	町主催による男女交流を図る（合コン）。結婚、出産の際、祝い金を支給（5～10万）。元気あっぴむらの利用価値を高め、集客をする（施設の充実、プール等）。
11	土地の有効利用で言いましたが、線引きがすべて悪いとは思いませんが規則とか規律は人のためにあるものです。ならぬものはならぬものの精神では窮屈です。いわゆる柔軟な対応ができるかという点です。何年か先、コミュニティの存在そのものが維持できなくなるのは市街化調整区域内の山間地又は農村集落と相場が決まっています。分家以外は家をたてることができないのですから、現状維持か減少以外にありません。調整区域内の安い土地に住宅を作ることができれば、現在より、より広く、より安く、住宅が得られるのではないのでしょうか。農振法、農地法、都市計画など法がありますが、これらを克服できるよう努力すべきです（法改正難しいと思いますが）。
12	土地を購入しやすい価格にするには市街化区域を拡大して土地を求めやすくする。
13	住宅地を増やすことによって安価に宅地が供給できるのであれば、項目3に賛成。
14	市街化調整区域は対象地区を絞ってはどうか。 人口増加とはいえ外国人居住的なのは反対。 空き家（賃貸）の利用を考えてはどうか（防犯、環境、防災対策も含めて）。
15	減反している土地を住宅地にすることができればよいのではないかと思います。そしてら改革していかないと良い土地利用ができないと思います。
16	農林業などの高齢化が進み、未利用地がこれから増えてくると思う。 市街化調整区域も住宅地に利用して安価に提供できれば、他の市や町への流動が防げるのではないか。
17	人口増加を狙うなら単身者ではなく、家族世帯で定住を促進するために家を建てやすく緩和対策を取ってはどうか。
18	市街化区域内未利用地は土地区画整理事業がされていなくて、接道ができないなどの問題があると思う。それらを解消して住宅地の確保を図ること。市街化調整区域では後継者がいなく空き住宅が地域にもあると思うので、それらを有効利用できるような施策を講ずるべきと思う。
19	将来人口推計によると2050年には本町の人口が2万人前後と見込まれ、4万人にするには、新たな町を一つ作るような大規模な産業用地か住宅用地の造成を必要と考えるが、日本全体の方向としては、少子化、高齢化人口減少を見込まれ現状でも、高速インターとしての便利な工業団地で20か所も売れず、誘致に躍起になっていることを考えると非現実的と考える。現在の都市計画区域の中で効率的に誘導していくことが費用的にも現実的と考える。

20	<p>法律に基づき、市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要。その場合、町が一括土地を取得し、土地造成をして町民に提供するなど、一般的な対応でなく、既成概念にとられない取り組みが必要と思われる。</p> <p>区画整理事業と合わせた住宅地の増強。区画エリアを畑や水田など取り込んで拡大し、住宅地を生み出し、安価に供給する。家を購入または新築したい人⇒候補地選定⇒一般的にまずどこに住むかを考える。①土地が安い②宅地周辺の道路が整備されている③駅まで近い④上下水道の完備⑤公共交通が発達している⑥税金が安いなどであり、以上あげた点などが満足すれば、必然的には人は定住すると思われる。</p>
21	<p>法改正。</p> <p>市町村への権限移譲。</p>
22	<p>宝積寺駅前の再開発が必要。また未利用地がまだ活用されずにたくさんあるように思う。アパート等の建築ではなく、ここが購入できるような対策が大切になる。</p>
23	<p>仮に現在の未利用地に一戸建て住宅を建て、世帯人数3名で定住した場合、市街化区域の人口はどのくらいになるのか試算してはどうか。市街化区域内の未利用地の地権者へ住宅建築促進のアンケートを送付し、促進同意を得た地権者に土地利用してもらい、一戸建て新築住宅で入居した場合、地権者と関係業者（ハウスメーカー、住宅建築業者、不動産業者等）へ町から補助金を出すとか、固定資産税を何年か軽減したらどうか。</p>
24	<p>土地の問題で言えば、必要なのは「安価な宅地の供給」に尽きる。若い人たちが購入するためには少しでも安いことが必要だと考える。</p>
25	<p>烏山バイパス沿いの宅地（光陽台、宝石台）と宝積寺駅との間が離れており、JR駅があるという優位性を街づくりに生かせていない。駅とバイパス沿いの宅地との間に新たな宅地を開発する必要がある。</p>
26	<p>未利用地にはなるべく建物がすぐ出来るよう、お願いしたい（何年もかかることが多い）。大会社を増やし、地元優先で雇用確保できるようにお願いしたいです。</p>
27	<p>東部地区の開発。調整区域の見直し。</p>
28	<p>市街化調整区域での土地開発が農地法の制限をうけ、就労場所、住宅地等開発が大変困難、都市計画により線引きをする中で、市街化調整区域の制限を取り払う必要性を感じています。</p>

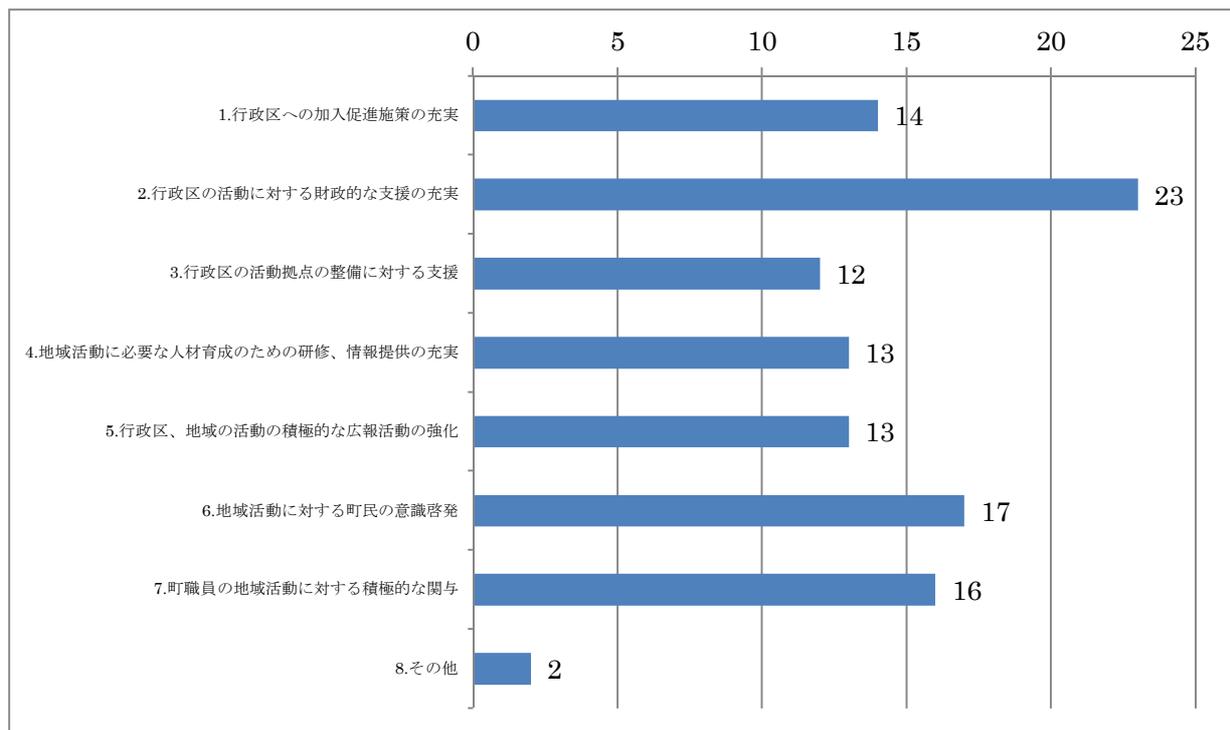
### 5-1. 新たな自治の仕組みについて [問 5 (1) : 1つ選択]

町の新たな自治の仕組みとして、回答者が最も多くあげたのが、「2. 新たな地域自治の仕組みは必要だが、中身の議論に時間をかけて取組むべき (23)」となっている。次いで、「3. 現時点では新たな地域自治の仕組みは必要ない (16)」で、回答事業者は性急な取組みよりも、じっくりと議論を重ね、取組みを検討することを希望している。



5-2. 地域コミュニティ（行政区）を維持・発展させる取組みについて [問5(2):3つまで選択可能]

将来に向けて事業を継続・発展させていくために必要な取組として、回答者が最も多くあげたのが、「2. 行政区の活動に対する財政的な支援の充実 (23)」となっている。次いで、「6. 地域活動に対する町民の意識啓発 (17)」「7. 町職員の地域活動に対する積極的な関与 (16)」で、財政面、人材面の強化が求められている。



●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 地域住民代表者会議開催時における

本調査全体に関するご意見

- ・ 区長や経済関係者、農業関係者にアンケートを実施するとのことだが、長期間に渡る計画を作るのだから、我々大人の現実的な意見とこれからを担う中学生などの将来性のある意見を聴いたらどうか。
- ・ 4万人に人口を増やすメリットについて教えていただきたい

## 6. 小学校区別クロス集計

地域代表者の回答に関しては、小学校区を、①阿久津・西小学校区と、②北、中央、東、上高根沢小学校区の二地域に大別してクロス集計を行った。

### 1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）[問1：3つまで選択可能]

	回答者数		回答者数	
	11		24	
	回答数		回答数/回答者数	
	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計
1.東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い	6	14	54.5%	58.3%
2.鉄道や道路など交通の利便性が高い	8	10	72.7%	41.7%
3.就労場所が豊富、近い	3	0	27.3%	0.0%
4.計画的な土地利用により暮らしやすい	0	0	0.0%	0.0%
5.土地が安く住宅が建てやすい	0	2	0.0%	8.3%
6.子育て環境、支援施策、施設が充実している	0	1	0.0%	4.2%
7.教育環境、支援施策、施設が充実している	0	0	0.0%	0.0%
8.医療福祉施設、医療福祉施策が充実している	0	1	0.0%	4.2%
9.高齢者福祉施設、支援施策が充実している	0	0	0.0%	0.0%
10.身近な場所での買い物の利便性が高い	2	2	18.2%	8.3%
11.上下水道、道路など居住環境が充実している	0	1	0.0%	4.2%
12.防災、防犯施策によって安心して暮らせる	0	0	0.0%	0.0%
13.豊かな田園風景など自然環境に恵まれている	6	19	54.5%	79.2%
14.地域のつながりが強い	2	1	18.2%	4.2%
15.若者が増加、いきいきしている	0	0	0.0%	0.0%
16.高齢者の活躍の場が多い	0	0	0.0%	0.0%
	27	51		

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

			回答者数	回答者数
			11	24
	回答数	回答数	回答数/回答者数	回答数/回答者数
	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計
1.東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い	0	0	0.0%	0.0%
2.鉄道や道路など交通の利便性が低い	0	1	0.0%	4.2%
3.就労場所が少ない、遠い	6	14	54.5%	58.3%
4.土地利用の制約が多く暮らしにくい	2	13	18.2%	54.2%
5.土地が高く住宅が建てにくい	2	6	18.2%	25.0%
6.子育て環境、支援施策、施設が充実していない	0	3	0.0%	12.5%
7.教育環境、支援施策、施設が充実していない	0	3	0.0%	12.5%
8.医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない	0	1	0.0%	4.2%
9.高齢者福祉施設、支援施策が充実していない	0	0	0.0%	0.0%
10.身近な場所での買い物の利便性が低い	3	6	27.3%	25.0%
11.上下水道、道路など居住環境が充実していない	7	2	63.6%	8.3%
12.防災、防犯面で不安を感じる	0	0	0.0%	0.0%
13.自然環境に恵まれていない	0	0	0.0%	0.0%
14.地域のつながりが弱い	2	1	18.2%	4.2%
15.若者が減少、活力がない	2	10	18.2%	41.7%
16.高齢者の活躍の場が少ない	0	2	0.0%	8.3%

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

			回答者数	回答者数
			11	24
	回答数	回答数	回答数/回答者数	回答数/回答者数
	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計
1.定住人口増加に向けた対策を進めるべき	10	19	90.9%	79.2%
2.現状維持のための対策を進めるべき	1	4	9.1%	16.7%
3.積極的な対策は必要ない	0	0	0.0%	0.0%

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4：1つ選択]

			回答者数	回答者数
			11	24
	回答数	回答数	回答数/回答者数	回答数/回答者数
	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計	阿久津・西小学校区計	北、中央、東、上高根沢小学校区計
1.市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要	1	8	9.1%	33.3%
2.市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要	2	7	18.2%	29.2%
3.市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要	5	4	45.5%	16.7%
4.市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要	4	2	36.4%	8.3%
5.現状のままで良い	0	1	0.0%	4.2%
6.その他	1	1	9.1%	4.2%

## 『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る 地域住民代表者アンケート調査

高根沢町では、人口減少対策に取り組むため、「高根沢町定住人口増加プロジェクト～定住人口4万人を目指して～」を策定し、人口減少対策に関する施策の立案を行うこととしております。

今回、地域住民の代表者である区長の皆様が、高根沢町の魅力等についてどのようにお考えになられているか（トレンド）を把握させていただくとともに区長の皆様から定住人口増加を図るためのご意見・ご提言を頂戴し、今後の町における定住人口増加施策立案の基礎資料とするため、アンケート調査及びインタビュー調査を行うことといたしました。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますようお願いいたします。

平成26年7月

高根沢町長 加藤 公博

### ◎調査について

- ・本調査は、内閣府 平成26年度 特定地域再生事業費補助金事業の一環として実施いたします。
- ・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護に関する関係法令を遵守いたします。
- ・調査結果は、『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定作業のみに使用し、調査目的以外には利用いたしません。

◎提出期限 平成26年8月4日（月）※第2回会議開催時にご提出ください。

◎問い合わせ先 高根沢町夢咲くまちづくり推進課4万人構想推進係 TEL675-8113

問1. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「強み」（他市町と比較して優れている点）を伸ばしていく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「強み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い	2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い
3. 就労場所が豊富、近い	4. 計画的な土地利用により暮らしやすい
5. 土地が安く住宅が建てやすい	6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している
7. 教育環境、支援施策、施設が充実している	8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している
9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している	10. 身近な場所での買い物の利便性が高い
11. 上下水道、道路など居住環境が充実している	12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる
13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている	14. 地域のつながりが強い
15. 若者が増加、いきいきしている	16. 高齢者の活躍の場が多い

○ 問1で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例） 「2. 鉄道や道路など交通の便が良い」を選んだ場合  電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで10分程度で行くことができる。
（1）
（2）
（3）

○ 問1の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

--

問2. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「弱み」（他市町と比較して劣っている点）を克服していく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「弱み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い   | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い      |
| 3. 就労場所が少ない、遠い            | 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい      |
| 5. 土地が高く住宅が建てにくい          | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない   | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない   | 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い    |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない | 12. 防災、防犯面で不安を感じる        |
| 13. 自然環境に恵まれていない          | 14. 地域のつながりが弱い           |
| 15. 若者が減少、活力がない           | 16. 高齢者の活躍の場が少ない         |

○ 問2で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例） 「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい」を選んだ場合  市街化調整区域では、都市計画法の制限等により新たな住宅の建設が困難であるため、人口減少が進んでいる。
（1）
（2）
（3）

○ 問2の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

--



問4. 定住人口の増加を図るためには、優良かつ安価な宅地の供給が必要になると考えられます。

そこで、町の土地利用に対するあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの1つに○)

1. 地域コミュニティの維持・再生を図るためには、市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要
2. 地域コミュニティの維持・再生を図るためには、市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要
3. 市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要
4. 市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要
5. 現状のままで良い
6. その他 ( )

○定住人口の増加に向けた土地利用に関するご意見・ご提言をご記入ください。

問5. 町では、定住人口増加施策（少子・高齢化対策、防災対策等）の効果的な展開を図る観点から、既存の行政区を核として、各行政区が小学校区を単位とした緩やかな連携をする新たな自治の仕組みが必要だと考えています。

そこで、次の2つの質問にお答えください。

(1) 新たな地域自治の仕組みについてのあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの **1つに○**)

1. 新たな地域自治の仕組みは必要であり、できるだけ早く取組みを開始すべき
2. 新たな地域自治の仕組みは必要だが、中身の議論に時間をかけて取組むべき
3. 現時点では、新たな地域自治の仕組みは必要ない
4. 将来的にも、既存の行政区のみでよい
5. その他 ( )

(2) 地域住民代表者として、新たな地域自治の仕組み以外で、地域コミュニティ（行政区）を維持・発展させるための取組みとして、重要だと考えるものを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの **3つ以内に○**)

1. 行政区への加入促進施策の充実
2. 行政区の活動に対する財政的な支援の充実
3. 行政区の活動拠点（集会施設等）の整備に対する支援
4. 地域活動に必要な人材育成のための研修、情報提供の充実
5. 行政区、地域の活動の積極的な広報活動の強化
6. 地域活動に対する町民の意識啓発
7. 町職員の地域活動に対する積極的な関与
8. その他 ( )

**ご担当の行政区及びご氏名**

※差し障りのない範囲でご記入ください。  
後日、アンケートの回答内容について確認をさせていただきます場合等に使用させていただきます。

第 \_\_\_\_\_ 区

ご氏名 \_\_\_\_\_

**お住まいの学区**

1. 阿久津小学校区 2. 西小学校区 3. 中央小学校区  
4. 北小学校区 5. 東小学校区 6. 上高根沢小学校区

～ ご協力ありがとうございました ～